

令和5年度予算特別委員会 3月15日、16日

片股敬昌 委員長 安藤重行 副委員長

村長から令和5年度の予算案の提出を受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり皆様から納めていただく税金や国・都などの交付金、補助金などの使い道を審査しました。その結果、委員会に委員全員賛成ですべての予算案が提案どおり可決し、議長あてに報告書をまとめました。

- ✓ 母島列島周遊クルーズ事業 157万6,000円
- ✓ 高校生等医療費助成事業 174万円
- ✓ プラスチック製品再商品化委託 85万8,000円
- ✓ 水質管理用捨水設備整備工事 124万4,000円

村税

問 歳入について令和4年度に結構大きく上がって、今回はそれが減っている。この増減がなぜ起きるのか。(清水)

答 国有資産等所在市町村交付金及び納付金の大きな減額分。昨年度に比較して1,193万4,000円の減額となっている。(財政課長)

新型コロナウイルス感染対策事業費

問 どういったことに使われるのか。(清水)

答 引き続き村内での感染対策、また来島者の対策、その全てにおきまして12か月継続して行ったという積算の下に今回予算案を提出している。(総務課長)

情報通信事業費

問 自主放送について、今後どんな形で反映されているのか。(清水)

答 これまで同様に議会中継、イベントの記録番組をこれまでどおり放送し、継続をします。放送予定が決まりましたら、村民だよりや村のホームページにお知らせを掲載します。(企画政策室長)

自然環境保全対策費

問 母島列島周遊クルーズ事業の主たる目的と、なぜ母島なのか。(杉田)

答 目的は、いろいろな遺産の保全の取組や遺産の価値も知っていく機会を設けたいということ。母島で今回やる理由は、今年度コロナの影響でできなかったため。(環境課長)

アジアベッコウ捕獲作業委託

問 アジアベッコウ捕獲作業が新規事業で入っているが、こういったことで今後これを続けていくのか。（稲垣）

答 侵入が確認されて以降、分布域が拡大している傾向にあるので、来年度も対策は必要であろうということで、新規に予算立てしている。（環境課長）

教育費

問 オガサワラオオコウモリの食害対策の防除柵については、防除柵とか防護ネットはどの程度の大きさで、何か所設置するのか。（安藤）

答 父島で3か所、母島で2か所、防護網については、父島、母島合わせて3か所。面積としまして、施設のほうが約1,090平米、防護網のほうが48平米となっている。（環境課長）

バス事業費

問 バス事業の中で椅子の設置は予算化しているのか、していれば予算額は幾らで、どのようなものを設置予定しているのか、もし予算化していないのであれば、今後対応していただきたい。

（安藤）

答 椅子の購入ということでは、令和5年度には計上していない。新しい場所に設置するというものは、今のところ予定していない。（産業観光課長）

令和5年度予算特別委員会 委員長報告

多種多様な行政課題へ取り組むことで、小笠原村職員の負担はますます増加していくが、村民生活の安心・安全を保全する責任ある対応を図られたい。

現在、小笠原小中学校・母島保育施設など大規模な整備事業が行われているが、次世代を担う子供たちのために、確実な整備の実施を進めていただくと同時に、将来に過大な負担を残さないよう、慎重な財政運営に努められたい。

現在見込める財源は確実に収入することはもとより、自助努力で島の環境を守るため、新たな財源確保について、あらゆる可能性を模索されたい。

予算の執行にあたっては、事業の進捗管理を計画的に行い、未執行事業を出すことのないよう努められたい。

なお、本予算特別委員会の審議の中で、予算審議を可決した経緯も考慮し、各委員からの指摘や要望・意見があった事項については、今後の施策、財政運営に積極的に取り組み、村民生活の安定・向上のために予算を確実に執行されたい。

令和5年第1回定例会においてこんなことが決まりました

開会日 3月9日、10日、16日

- 小笠原村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 中ノ平自立支援農業団地条例の一部を改正する条例
- 小笠原村個人情報保護条例を廃止する条例
- 小笠原村個人情報保護法施行条例
- 小笠原村情報公開条例の一部を改正する条例
- 小笠原村特定個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 小笠原村公の施設の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例
- 令和4年度小笠原村一般会計補正予算(第7号)
- 令和4年度小笠原村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和4年度小笠原村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和4年度小笠原村宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度小笠原村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第3号)
- 令和4年度小笠原村下水道事業特別会計補正予算(第2号) など

会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
 - 地域福祉センター図書室
 - 母島支所
 - 母島村民会館図書室
- で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で



議長出張報告



出張日	出張先、会議名	出張の用務
1月1日	成人式(父島)	式典出席(同行者)
3月18日	小笠原中学校卒業式	式典出席
3月29日	日本郵便株式会社	日本郵便による直営局の要望(村長同行)

総務委員会 3月10日（午前9時開会）

安藤重行 委員長 清水良一 副委員長

新型コロナウイルス感染症対策

令和4年12月の委員会以降の国・東京都・村の対応などについて報告を受けました。

【質疑】

- マスクの着用は個人判断になるが、発熱外来の際にどういう対応になるのか。（片股）
- ワクチンの接種ということで何人ぐらいが接種して、あとどのぐらいできるのか。（清水）

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例）、母島における貝食性コウガイビル分布の状況、オガサワラカワラヒワの保全状況、兄島のグリーンアノール対策について報告、質疑がありました。

【質疑】

- Cエリアの西側に柵をつくるのは、アノールを外に出さないために造るのか。（清水）
- 囲い込みするときに柵はいろんなエリアで仕切っている柵と同じものを使うのか。（杉田）

硫黄島調査特別委員会 3月10日（午前11時開会）

片股敬昌 委員長 杉田一男 副委員長

令和4年12月の委員会以降の硫黄島に関する動きについて報告がありました。

遺骨収集帰還事業

▶ 通年実施している滑走路地区の掘削作業、遺骨収集作業等のスケジュールについて報告がありました。遺骨収集は4回実施する予定の3回目と4回目が実施されました。収容柱数は3回目が29柱、4回目が25柱お迎えしました。

【質疑】

- H I A M R S の展開とあるが、どんな形で訓練をされているのか。（安藤）
- 人道支援・災害救援訓練コープ・ノースの内容というのは。（清水）

その他の報告

- FCLP空母艦載機離着陸訓練
- 海上自衛隊訓練のHRS訓練、LCAC訓練
- 硫黄島連絡会議の報告 など

小笠原航空路開設推進特別委員会 3月10日（午後2時開会）

杉田一男 委員長 稲垣 勇 副委員長

令和4年12月の委員会以降の航空路開設推進に関する動きについての報告がありました。

【質疑】

- オスプレイを運航するには民間型式の承認を得なければならないがどこまでいっているのか。（稲垣）
- 東京都の航空路調査費、今回はどういう調査になるのか。（清水）

築館俊一議員



諸物価高騰により村民生活の困窮について

築館議員 今年度の「小笠原村民みんなのクーポン券」の配布は村内流通の流れの潤滑剤となりました。ありがとうございます。引き続き、生活必需品をはじめ食料品、光熱費など諸物価の極端な高騰が国民、村民生活を圧迫しています。この先も継続的に圧迫すると思われませんが、生活に対する継続的な補助や助成などを検討してもらいたい。

総務課長 「小笠原村民みんなのクーポン券」について評価いただきありがとうございます。クーポン券の取扱事業者からの換金は、村民の皆様の経済負担軽減と消費喚起、地域経済の活性化に少なからず寄与できたと考えております。

昨今の世界情勢によるエネルギーや食糧等の価格上昇は小笠原村だけの問題ではなく国民生活全体に影響を及ぼしていることから、国は昨年10月、厳しい状況にある生活者、事業者へ支援を含む経済総合対策に打ち出しました。その中の物価高騰対策として、去年1月に発動した燃料油価格激変緩和対策を継続し、1月からは電力料金の激変緩和対策が開始されました。また、輸入小麦の政府売り出し価格据え置きや配合飼料負担の上昇抑制等の食料品高騰対策も行われております。

また、国は住民税均等割非課税世帯等に「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」として1世帯あたり5万円を支給し、東京都においては同じく住民税均等割非課税世帯等に対し、米や野菜などの食品と引き換えることができる「東京都おこめクーポン」を配布する事業が開始されました。このように、国や都においては様々な対策や支援が継続的に行われております。国や都の対策の動向につきましては、今後も注視してまいりますが、現在のところ、この物価高騰がいつまで続くのかわかりません。

清水良一議員



ゼロカーボンシティ宣言後の施策について

清水議員 2050年までに二酸化炭素ゼロを目指すには島民とともに現状の数値を知り、目標と情報の共有が必要 ①直近4～5年の村全体の二酸化炭素排出量は？②母島太陽光発電以外の施策は？③扇浦交流センターの太陽光発電10kwh年間10000kwhがまだ無駄になっている。システムの再構築は？④太陽光発電、蓄電池、電気自動車の実証が急務、自然エネルギー独立系の技術的アドバイザーの必要性は？⑤島民との目標及び情報共有のための場づくりは？⑥地球温暖化対策実行計画での目標値26%減でいいのか？村のリーダーシップをとっていく意思是？

環境課長 ①村全体では2019年度14990t 2013年に対して17%の削減。ごみ焼却による排出量は2018年319,6tを底に2021年は412,5tと再び増加、精度の高い数値を算出し村民と共有。②省エネ家電導入促進LED照明導入、情報センター5,15kwh太陽光発電導入、母島再エネ100%実証事業後電気自動車の導入検討、来年度地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定、具体的施策を検討。

総務課長 ④新年度以降売り渡し申請手続きを行っている。今後蓄電池充電分、昼間使う分、余剰電力売り渡し分、3通りに利用できる。⑤技術的アドバイザーは考えていない。

環境課長 ⑥普及啓発を目的とした村民との勉強会削減目標や省エネ情報の共有する場を作りたい。⑦可能な限り今後高い目標値を設定していく。

村長 現状を把握し情報を発信しながら村民の理解とともに一つ一つ積み重ね村民をリードできるよう努力する。ゼロカーボンパークについては検討する。

安藤重行議員



村長所信表明に伴う様々な課題

安藤議員 ①家族が病気になった時、内地入院等で2重～3重生活になる。生活困窮者への子育て支援を含む運賃・医療・居住あらゆる面からの村の支援を実態に合わせて準備して置くことが必要では ②障害者・児福祉へのアクション・方向性は ③諸物価高騰の折、高齢者の年金減少が進んでいる。安心して暮らせるための環境整備等は ④ゼロカーボンシティ宣言をしたが、施設のLED化の推進レベルではない目玉対策を発信すべきでは ⑤オガサワラカワラヒワをどのように守っていくのか

【その他の課題についても質問しました。会議録をご覧ください！】

村民課長 ①運賃・医療支援サービスは治療通院支援等多方面から支援。今後も検討。本土療養者・家族支援は相談に応じ療養・生活面との個別支援が重要。様々な相談内容に沿って対応するため子育て世帯も含めて支援先・専門的相談体制の確保と関係機関等と連携し、継続的に対応していく。②障害者・児計画をR5年に改定するため優先ニーズを把握、年齢に応じた支援や支援事業の専門職や関係機関等と継続し改正を実施する。③高齢者の体調管理・環境と安全対策、コーディネーターの人材育成など雇用確保に協力し、研究する。④R5地球温暖化対策実行計画の策定にあたり、カーボンニュートラルとも整合を図り目標・計画・具体的施策を検討する。⑤オガヒワの危機的現状課題に取り組む。人材・財源不足等各関係機関で調整中。研究者等とも連携し課題を整備し具体的に取組む。

稲垣勇議員



コウモリによる農業被害の実状と対策について

稲垣議員 現在レモンの開花時期でオオコウモリが母島のレモン畑に飛来しており、今後被害が拡大する恐れがある。被害実状と今後の対策について伺う。

産業観光課長 今年の冬から農業被害が広がっている。要因としては、天然の餌資源の不足と考えられる。こうした事態を踏まえ、農業者・農協・都・村・NPO団体と意見交換会を開催し、コウモリの食害対策として、文化庁・都の補助金の枠と都の山村離島振興施設整備事業の活用を図っている。母島ではこれまでに5か所約2,500㎡の施設整備を実施した。引き続き食害対策を支援していく。

稲垣議員 中長期的な対策はわかったがこの時期直近の大きな課題をどう考えるのか。

産業観光課長 NPO法人の方、農協の職員、環境省、都、農業者と連携を取り夜間のパトロールを行っているが、農業者の夜間の対応は大変ご苦労が多いことも感じている。

稲垣議員 以前、集落内や畑でコウモリを見かけなかった時期があった。それは小中学校の校庭で返還祭の花火を打ち上げ、その音が乳房山にこだまし、コウモリが寝ぐらを離島や北港方向へ移ったと思われるので、一度乳房ダムで花火を10発位打ち上げてみてはどうか。

母島支所長 学校の敷地で花火を打ち上げていた。

杉田一男議員



所信について

杉田議員 村長は令和5年度予算編成にあたり7つの重点項目を掲げているが今後も続く物価高騰の課題を含めどう取組んでいくのか伺う。

村長 村として現在直面する諸課題も考え活力ある村づくりを進めると共に限られた予算を最大限に活用し取組んで参ります。

杉田議員 二次産業の振興活性化に向けた取組みは。

村長 就農者の確保の為育成に都と連携して進めていきます。また就農者の居住確保問題にも取り組んで参ります。漁業支援についても燃料油・輸送費・内地出荷に関する問題に対してもしっかりと取組んで参ります。

杉田議員 観光振興についての取組みは。

産業観光課長 観光振興ビジョンを今年度中の策

定を目指し取組んで参ります。

杉田議員 防災対策についての取組みは。

総務課長 災害時のライフラインの確保、情報・水・電力の確保は重要な課題であります。小笠原は主要施設が海岸に面していて更なる強化が必要です。事業者及び都に対しても支援のお願いをして参ります。

杉田議員 プラスチック製品のリサイクル推進についてどのような取組みを考えているか。

環境課長 焼却量削減と共にプラゴミのリサイクルの推進を含めリサイクル業者の協力を得ながら最良の対応策構築に努めて参ります。

杉田議員 村の経済にかかせない公共事業についての取組みは。

財政課長 コロナ及び社会情勢による資材代高騰に関係機関に理解を求め、同時に財源不足に対支援をお願いして事業の停滞、着実な事業執行に取り組めます。

杉田議員 今年度は特措法延長に向けた大事な年度でもあります村長の考えは。

村長 特措法の延長は必要不可欠であり、予算の確保や各施策整備が着実に実施されるように最大限の努力をして参ります。

編集後記

4年の任期最後の議会が終わった。

コロナで大きく世界が変わる中それを乗り越えていくための令和5年度予算案がこの議会で承認された。ゼロカーボンシティを宣言し地球温暖化対策実行計画区域施策編、smileツーリズムを謳った観光振興ビジョン、この二つの大きな計画が絵にかいたモチにならないよう議会として今後もチェックし提案していきたい。

戦争に突き進む国ロシアを見ていて、自由に意見を言える社会でも積極的に意見を言っていないと自由に意見を言えない社会を作る恐れがあることを教えられた。小さな地方議会でもより多くの島民の意見が出しあえる場にしていかなければならないと感じる。自由で開かれた議会をこれからも島民とともに作っていききたい。

議会への意見お待ちしております。清水良一

★ 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一
築館俊一

